

第10回（令和5年度）研究助成採択者一覧

| No. | 氏名 (出身国) | 所属機関及び職名 | 専攻分野 | 研究主題 |
|-----|----------------------------|------------------------------|----------------|---|
| 1 | タムラ トモカズ 田村 友和 (日本) | 北海道大学大学院 医学研究院 助教 | ウイルス学 | 新型コロナウイルスが持続感染する分子メカニズムの解明 |
| 2 | イシダ ヨウヘイ 石田 洋平 (日本) | 北海道大学大学院 工学研究院 助教 | 材料科学 | 光合成反応を模したナノ表面構造制御による太陽光エネルギー変換システムの構築 |
| 3 | リ ホウ 李 灃 (中国) | 北海道大学大学院 工学研究院 助教 | 高分子化学、有機化学 | 脱炭素を志向とするポリマー材料の合成開発——植物資源の有効利用と二酸化炭素分離膜への応用 |
| 4 | ナカヤ ヨウキ 中屋 佑紀 (日本) | 北海道大学大学院 工学研究院 助教 | 環境工学 | AIを利用した画像分析に基づく下水処理活性汚泥の簡易迅速性能診断法の発展途上国への展開 |
| 5 | イ ドフン 李 度勳 (韓国) | 北海道大学大学院 情報科学研究院 学術研究員 | 情報エレクトロニクス | スポーツ応用に向けたフレキシブル・ウェアラブルセンサシステムの開発 |
| 6 | カ シンフウ 何 晨風 (中国) | 東北大学 加齢医学研究所 助教 | 生体情報解析分野 | 根治不能ながんによって全身に不調が生じるメカニズムの解明—免疫系と代謝系の連関— |
| 7 | ホウ シンチュウ 方 震宙 (中国) | 東北大学 加齢医学研究所 助手 | 腫瘍生物学分野 | DNA損傷とAurora AのE3活性の阻害による中心体を標的とした新たながん治療法の創出 |
| 8 | タン チャオ 唐 超 (中国) | 東北大学 電気通信研究所 助教 | 電気通信 | 二次元材料チャネルを用いたプラズモン整流動作原理の超高速THz検出器の開発 |
| 9 | ヨッサンヤン ウイジャック (タイ) | 東北大学 材料科学高等研究所 助教 | 化学 | 抗がん薬物の開発—キラルナノ構造における抗がん治療効果の向上 |
| 10 | リュウ テンギ 刘 騰義 (中国) | 東北大学 材料科学高等研究所 特任助教 | エネルギー・資源 | 電気化学醸造技術：CO ₂ を原料とした効率的かつ安定した液体化学品の製造の探求 |
| 11 | デイ ジャン (中国) | 東北大学 材料科学高等研究所 ポスドク | 水素燃料電池 | 金属-窒素-炭素触媒上の酸素還元反応におけるスピンの促進効果の探求 |
| 12 | ヤマダ シュンスケ 山田 駿介 (日本) | 東北大学大学院 工学研究科 助教 | MEMS、電気化学 | 生分解性電源を用いた使用後に体内に吸収されるセンシングプラットフォームの開発 |
| 13 | チョウ チョウリョウ 張 超亮 (中国) | 東北大学大学院 工学研究科 助教 | 応用物理学・スピントロニクス | 二次元材料を用いたスピン軌道トルク磁気トンネル接合素子に関する研究 |
| 14 | ニ ジャリン 倪 嘉苓 (中国) | 東北大学大学院 環境科学研究科 助教 | 環境工学 | ライフサイクルアセスメントによる嫌気性膜分離法における処理効果向上の有効性と限界の探求 |
| 15 | エベ ヒナコ 江部 日南子 (日本) | 山形大学 理学部 助教 | 化学分野 | 紫外-可視-近赤外応答型ペロブスカイト/Cu ₂ SnS ₃ コアシェルナノ結晶の創成と光触媒への応用 |
| 16 | ムン チャンユン 文 昶允 (韓国) | 筑波大学 人文社会系 助教 | 言語学（音声学・音韻論） | 言語の音調体系と音楽の知覚能力の相互作用に関する通言語的検証 |
| 17 | サカモト ヒロカズ 坂本 寛和 (日本) | 千葉大学 大学院医学研究院 特任助教 | 感染生体防御学 | オートファジー分子機構が退化した真核生物から紐解く新たなATG8局在制御機構の解明 |
| 18 | コ ソンジエ (韓国) | 東京大学大学院 工学系研究科 助教 | 二次電池、電気化学 | カーボンニュートラル社会の実現に向けた革新的リチウムイオン電池の開発 |

| No. | 氏名 (出身国) | 所属機関及び職名 | 専攻分野 | 研究主題 |
|-----|--|-------------------------------|---------------------|---|
| 19 | キタオリ アキ 北折 暁 (日本) | 東京大学 工学系研究科 助教 | 固体物理学 | 反強磁性スピントロニクスを活用した電子デバイス材料の開発 |
| 20 | ジョウ ビョンウク 趙 炳郁 (韓国) | 東京大学大学院 情報理工学系研究科 助教 | 知能機械情報学、バイオエンジニアリング | 3次元血管モデルと磁気駆動式小型遠心ポンプを用いた体内血管流れ環境の構築 |
| 21 | チャン シンホア 江 欣樺 (台湾) | 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任研究員 | 環境政策、環境配慮型社会 | 水質科学と政策設計の形成過程及び主体間の相互作用：科学技術社会論の考察 |
| 22 | イ ジョンソン 李 貞善 (韓国) | 東京大学 人文社会系研究科 研究員 | 文化資源学研究専攻 | アジアの平和と共生からみた文化遺産研究：「避難首都・釜山」の記憶伝承から、レジリエンスの構築へ |
| 23 | イノウエ サトシ 井上 聡 (日本) | 慶應義塾大学 医学部 専任講師 | がん免疫研究部門 | 子宮内膜症由来の重複婦人科悪性腫瘍に対する個別化至適治療と早期診断法の実現 |
| 24 | ナカムラ マサヒロ 中村 真浩 (日本) | 順天堂大学 医学部 助教 | 耳鼻咽喉科 | アレルギー性鼻炎における環境物質のIgE交差抗原の同定と生理的意義の解明 |
| 25 | ニケン プラスサティ マルトノ ティ マルトノ (インドネシア) | 東京理科大学 創域理工学部 助教 | 経営システム工学 | 小規模酪農家向け定量的および定性的データを統合したAI主導型スマート管理システムの開発 |
| 26 | ナム ヒョンウク (韓国) | 東京理科大学 創域理工学部 助教 | 電子・電気材料工学 | 環境にやさしい無鉛系圧電セラミックスを用いた高性能超音波材料の創成 |
| 27 | タン テンヨウ 譚 天陽 (中国) | 早稲田大学 比較法研究所 助教 | 知的財産法 | 著作権法におけるオプトアウトのあり方について－拡大集中許諾を手掛かりに－ |
| 28 | アキバ シュンスケ 秋葉 峻介 (日本) | 山梨大学 総合研究部医学域 講師 | 生命・医療倫理、哲学 | 終末期の意思決定における「主体」概念再考：医療・ケア、あるいは自ら死にゆくことをめぐって |
| 29 | ワタナベ マサシ 渡邊 将 (日本) | 岐阜大学大学院 医学系研究科 助教 | 医学 | 嫉妬はどこで処理されるのか？-げっ歯類モデルを用いた解析- |
| 30 | カトウ ダイスケ 加藤 大輔 (日本) | 名古屋大学大学院 医学系研究科 講師 | 機能形態学講座 分子細胞学 | 高時間分解能を持つ脳機能の4次元計測－神経疾患病態の解明に向けて－ |
| 31 | マツシマ ミヨコ 松島 充代子 (日本) | 名古屋大学大学院 医学系研究科 講師 | 総合保健学専攻 | 3型炎症を標的としたフラボノイドによる新規生体防御誘導機構の解明 |
| 32 | ソン ヨウ 孫 陽 (中国) | 名古屋市立大学大学院 医学研究科 博士研究員 | 神経生化学分野 | 新規アルツハイマー病疾患修飾治療法の開発 |
| 33 | シバスダラン カルナン (スリランカ) | 愛知医科大学 医学部 講師 | 医学（生化学） | KRAS変異に制御される遺伝子の機能解析とがん治療薬の開発 |
| 34 | リュウ ペンウー 劉 品吾 (台湾) | 京都大学 医学研究科 研究員 | 神経科学 | 記憶消滅におけるシナプス微小構造の再編成 |
| 35 | ニシヤマ ソウイチロウ 西山 総一郎 (日本) | 京都大学大学院 農学研究科 助教 | 果樹園芸学 | 果樹のフェノロジー形質計測のための新規フェノタイプピング手法の開発と応用 |
| 36 | イスラム マーフズル (バングラデシュ) | 京都大学大学院 工学研究科 講師 | 電気工学専攻 | 自律補正機構によるアナログ集積回路の低消費電力設計 |
| 37 | グエン タン フク (ベトナム) | 京都大学大学院 工学研究科 講師 | 分子工学 | 光と物質の強結合下での分子系の量子制御の理論研究 |
| 38 | ゴン マサユキ 権 正行 (日本) | 京都大学大学院 工学研究科 助教 | 高分子化学 | 高度縮環超原子価スズアゾメチン化合物を利用した新奇近赤外発光材料の創出 |

| No. | 氏名 (出身国) | 所属機関及び職名 | 専攻分野 | 研究主題 |
|-----|-------------------------------|----------------------------------|------------------|---|
| 39 | フジモト カズヤ 藤本 和也 (日本) | 京都大学 大学院工学研究科 助教 | マイクロエンジニア | マイクロ流体デバイスと自動操作によるオルガノイド形成過程の網羅的理解 |
| 40 | シラキ リュウタ 白木 隆太 (日本) | 京都大学 大学院情報学研究科 助教 | 通信情報システム専攻 | 大容量光ファイバ通信網を実現する知的信号処理技術 |
| 41 | コ テキ 胡 迪 (中国) | 京都橘大学 健康科学部 助教 | 臨床検査医学 | 腸脳相関に着目した疲労の慢性化形成メカニズムの解明と疲労予防・改善への応用研究 |
| 42 | ナリタ チヒロ 成田 千尋 (日本) | 立命館大学 衣笠総合研究機構 助教 | 歴史学 | 日本・沖縄・韓国の米軍基地とその連関・周辺地域の変化に関する比較研究 |
| 43 | コバヤシ ユウイチロウ 小林 裕一郎 (日本) | 大阪大学大学院 理学研究科 助教 | 高分子科学専攻 | 余剰資源である硫黄を原料とした重縮合系硫黄ポリマー材料の開発 |
| 44 | スズキ トモミ 鈴木 有美 (日本) | 大阪大学大学院 工学研究科 助教 | 建築構造・耐震工学 | 振動台実験と部材実験による鉄筋コンクリート造建物の地震ラチェット応答と残余耐震性能の解明 |
| 45 | キブシ ベニオ 木伏 紅緒 (日本) | 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 助教 | 身体運動制御 スポーツ科学 | 筋・運動学シナジーを用いたアスリートの移動運動能力評価 |
| 46 | シュウ ゲン 周 源 (中国) | 神戸大学大学院 法学研究科 助手 | 政治学 | 中国国営メディアによる国際ニュース報道に関する研究 |
| 47 | オクシヤ ニカ 奥舎 有加 (日本) | 岡山大学学術研究院 薬理学分野 特任助教 | 腫瘍分子生物学 | 生物種を超えた多次元解析による遺伝性腫瘍の新規バリエーション機能解明 |
| 48 | タナカ ケンタ 田中 健太 (日本) | 岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 | 有機合成化学 | 電気化学測定を基盤とした高還元力を有する有機光触媒の創製 |
| 49 | アラカワ ジンタ 荒川 仁太 (日本) | 岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域(工) 助教 | 機械システム系 学科学科 | 高耐久性能を目指した有機繊維配合のハイブリット型-摩擦攪拌継手の実現可能性検証 |
| 50 | カジカワ マサト 梶川 正人 (日本) | 広島大学病院 未来医療センター 診療講師 | 循環器内科 | 新規血管再生医療の開発を目指した細胞由来別血管新生因子・抗炎症作用の解析 |
| 51 | ミウラ ケント 三浦 健人 (日本) | 広島大学 原爆放射線医科学研究所 助教 | 実験動物学 | ゲノム編集マウスを利用したT細胞に発現するうま味受容体の機能解明 |
| 52 | タカタ ハルカ 高田 春風 (日本) | 徳島大学 医歯薬学研究部(薬学域) 特任助教 | 薬物動態制御学 分野 | PEG製剤による抗PEG IgG依存的アナフィラキシー発症機序の解明 |
| 53 | リ カンゲン 李 冠軍 (中国) | 高知大学 データサイエンスセンター 特任助教 | 農業経済学 | 処理水放出後の水産業振興に関する実証分析ー消費者と漁業者のアンケート調査からー |
| 54 | ウェン パンウエ (中国) | 九州大学 先端物質科学研究所 学術研究員 | 生体材料、表面 工学 | Development of next-generation sustainable anti-fouling coating 持続可能な次世代型防汚コーティングの開発 |
| 55 | タナカ ユウキ 田中 勇希 (日本) | 量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研究所 主任研究員 | 量子免疫学 | 量子技術-免疫学的手法の融合による「微小炎症」新規高感度検出系の確立 |